

第 75 回原状回復対策協議会について

9 月 8 日（土）に開催された協議会の内容についてお知らせします。

1 ワーキンググループの活動状況について

(1) 植栽試験

8 月末時点で改良土壌ではウルシが順調に成長しており、無改良土壌では環境耐性の高い赤松が比較的順調に成長しています。

(2) 普及啓発・環境学習

7 月 28 日に開催された「カシオペア環境フェスティバル」において、県境不法投棄事案に係るパネルの展示や昨年度製作した記録映像（DVD）の放映を行ないました。

今後は、地元の高校生を対象に DVD を活用した出前授業を開催する予定です。

土壌改良地区全景。ウルシの成長が目立つ。



アカマツ

ウルシ

ミズナラ

2 環境モニタリング結果について

環境基準を超過した項目、場所等に大きな変動は見られませんでした。

3 1,4-ジオキサン対策について

(1) 地下水調査及びボーリング調査

平成 30 年 7 月の調査において、場内 45 地点中 12 地点で環境基準を超過していますが、地下水汲上げ等の対策により濃度の低下が見られています。また、これまでジオキサンの汚染調査をしていなかった地点においてボーリング調査を行なったところ、（大雨により調査が遅れている箇所を除く）全地点で基準を下回っていました。

(2) 浄化対策

高濃度汚染が確認されている一部の地区においては、事業期間内に浄化できるよう汚染箇所を取り除く等の追加対策を、昨年度のボーリング調査により局所的に汚染が確認された地区については注水工等の対策を検討します。

また、昨年度から実施している重機による汚染土壌の浄化作業については、施工場所の水はけを良くすることで工期の短縮を図り、作業効率の向上を図っています。

4 水銀調査結果について

昨年水銀が検出された北東部の 2 地区以外の事業場内外 23 箇所のボーリング調査を行ったところ、場内はもとより場外でも水銀を含む地層が確認されたことから、土壌に含まれる水銀は自然由来であると考えられます。

ただし、北東部の 2 地区については、濃度が高く井戸水からも検出されているため、引続き調査を行なうこととします。

第 76 回原状回復対策協議会を次のとおり開催する予定です。

どなたでも御自由に傍聴できます。

日 程 平成 31 年 3 月 23 日（土）

場 所 二戸地区合同庁舎 1 階 大会議室（二戸市石切所字荷渡 6-3）